

平成 29 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

ペトロbras社ブラジル沖合プレソルト層 Sépia 鉱区向け FPSO 受注

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、ブラジル連邦共和国の国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A. (以下「ペトロbras社」、本社リオデジャネイロ市)より、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)1 基の建造及びチャーター契約を受注しました。

本 FPSO は、ペトロbras社がオペレーターを務める Sépia(セピア)鉱区の開発プロジェクトに用いられます。ブラジル・リオデジャネイロ沖合約 250km の Santos(サントス)海盆内に位置する Sépia 鉱区は、海底下約 5,000m のプレソルト層(岩塩層直下の層)にある海底油田の一部です。

日量 18 万バレルの原油生産能力、日量 212 百万立方フィートのガス生産能力、日量 24 万バレルの水圧入能力、140 万バレルの原油貯蔵能力を持つ本 FPSO は、当社米国子会社の SOFEC, Inc. 社が設計・建造する Spread Mooring(スプレッド・ムアリング:多点係留)と呼ばれる係留設備で、水深約 2,200m の海上に係留されます。

当社は、本 FPSO の設計から機器購入、建造、据付までの一括工事を請け負います。また、本 FPSO は、完成後に当社の関連会社が保有し、ペトロbras社に対する 21 年のチャーターサービス (リース及び運転・保守点検等のオペレーション)に供されます。

本 FPSO は、当社にとって 13 基目のブラジル向けプロジェクトであり、また同国プレソルト層深海鉱区開発用としては 6 基目[※]の FPSO の受注となります。

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<http://www.modec.com/jp>

※ 当社グループで保有する以下 5 基の FPSO が、それぞれペトロbras社がオペレーターを務めるブラジル沖プレソルト層深海鉱区にて原油生産を行っています。

FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22:	Lula(旧 Tupi) 鉱区
FPSO Cidade de São Paulo MV23:	Sapinhoá(旧 Guará) 鉱区
FPSO Cidade de Mangaratiba MV24:	Iracema Sul(旧 Cernambi Sul) 鉱区
FPSO Cidade de Itaguaí MV26:	Iracema Norte(旧 Cernambi Norte) 鉱区
FPSO Cidade de Caraguatatuba MV27:	Lapa(旧 Carioca) 鉱区